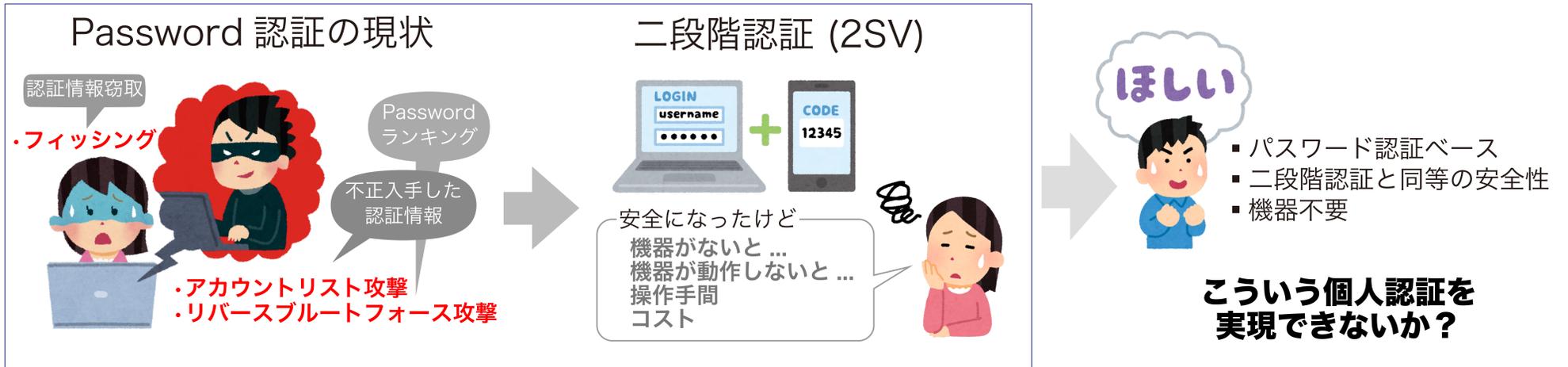


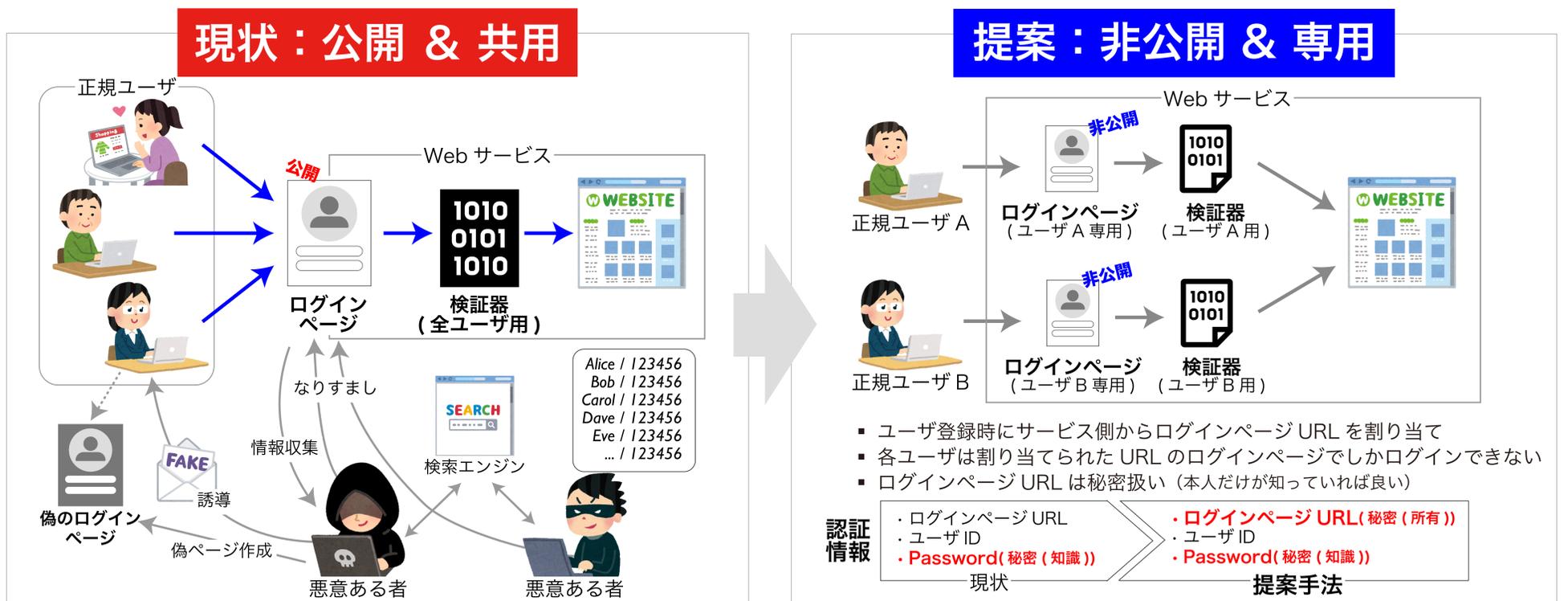
認証ページの運用方法変更で 個人認証の安全性向上は可能か？

根本啓佑, 高田哲司 (電気通信大学)

Web サービスにおける
問題：パスワード認証の安全性を「機器なし」で改善できないか？



提案：パスワード認証におけるログインページの運用方法を変更



利点

- オンライン攻撃困難化
ログインページがどこにあるか
そもそも分からない
- リスト型攻撃困難化
1つのログインページで認証できる
ユーザはたかだか1ユーザだけ
- フィッシング対策
ログインページ URL はサービス側も知らない
認証情報を窃取されても、その悪用は困難
- 二段階認証と同等の安全性
ログインページ URL と Password の
2情報で検証
- 認証操作はほぼ同じ
ログインページにアクセスし、ユーザ ID と
Password を入力すること自体は同じ
- 既存の個人認証と併用可能
本提案は特定の個人認証に依存するものでない

議論点

- ログインページ URL の管理
どう管理するか？
サービス数増加によるスケーラビリティは？
- 安全性への懸念
検討の漏れているリスクはないか？
- 受け入れ可能性
2段階認証よりは良いと思うが、要検証
- 公共端末での利用法
ログインページ URL が履歴に残ってしまう

参考資料を Web にも掲載しています
興味のある方は右の QR code 経由で
ご覧下さい

